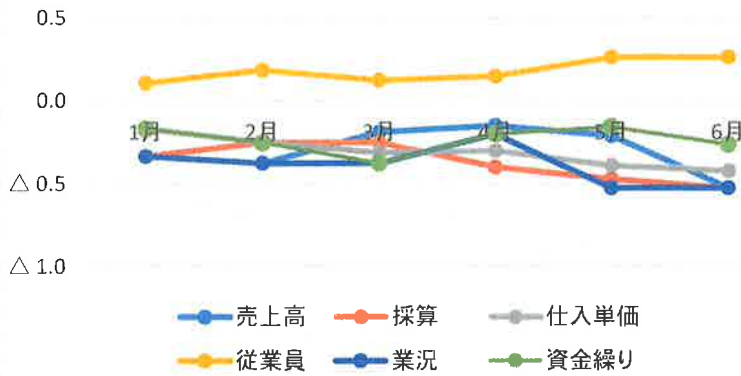


# 白河商工会議所LOBO調査結果(令和3年6月分)

実施期間:令和3.6.14～6.21 回答事業所:19事業所

## 1, 全業種DI値

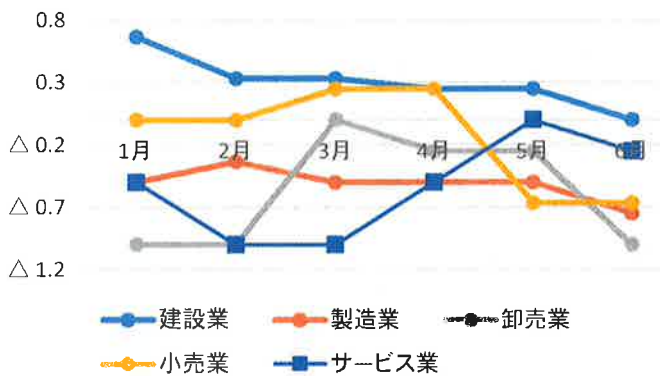
全業種(DI値)



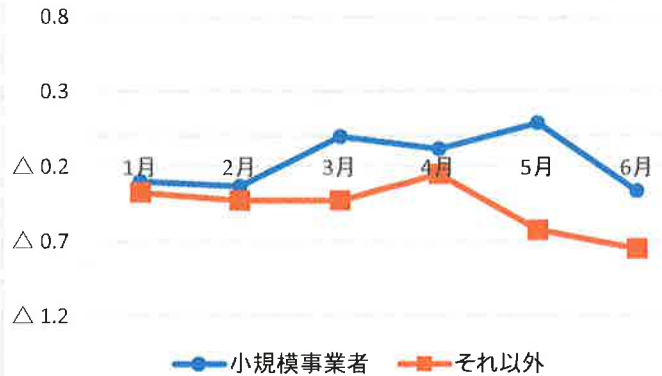
6月の全業種DI値を見ると、仕入単価が△0.4と前月から変化なしとなっている。一方で資金繰りは-0.1ポイント、売上高は-0.3ポイント下落している。また、採算・従業員・業況は横ばいという結果となった。

## 2, 売上高

業種別



規模別



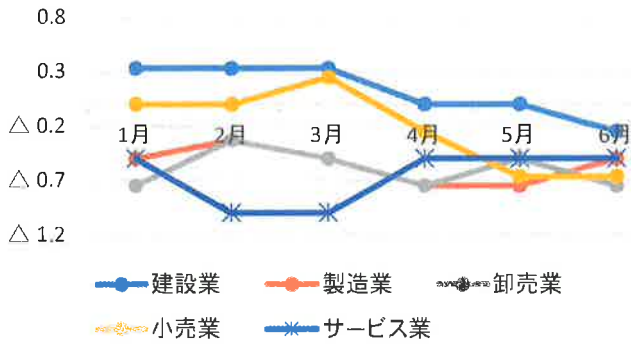
売上DIの推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全産業	△0.3	△0.4	△0.2	△0.2	△0.2	△0.5
建設	0.7	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0
製造	△0.5	△0.3	△0.5	△0.5	△0.5	△0.8
卸売	△1.0	△1.0	0.0	△0.3	△0.3	△1.0
小売	0.0	0.0	0.3	0.3	△0.7	△0.7
サービス	△0.5	△1.0	△1.0	△0.5	0.0	△0.3
小規模	△0.3	△0.3	0.0	△0.1	0.1	△0.4
それ以外	△0.4	△0.4	△0.4	△0.3	△0.6	△0.8

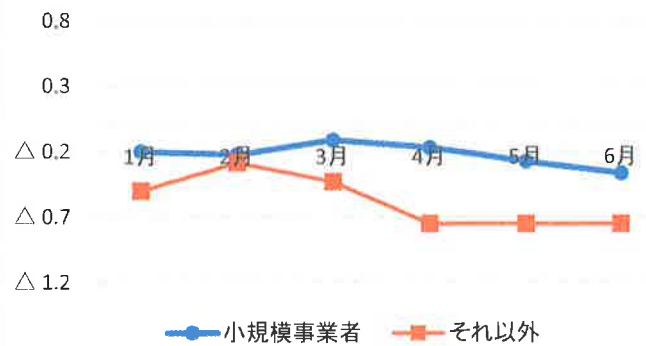
全産業の売上DIは△0.5で-0.3ポイント下落した。業種別に見てみると、建設業・製造業・サービス業は-0.3ポイント、卸売業は-0.7ポイント下落した。小売業は横ばいという結果となった。規模別に見ると、小規模事業者は-0.5ポイント、それ以外は-0.2ポイントという結果となった。

### 3, 採算

#### 業種別



#### 規模別



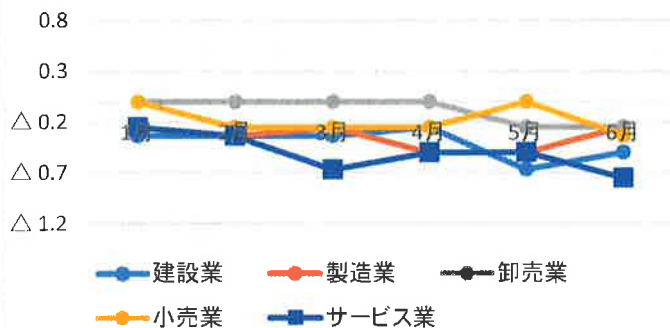
#### 採算DIの推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全産業	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.5
建設	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	△ 0.3
製造	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.5
卸売	△ 0.8	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.5	△ 0.8
小売	0.0	0.0	0.3	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.7
サービス	△ 0.5	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5
小規模	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.4
それ以外	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8

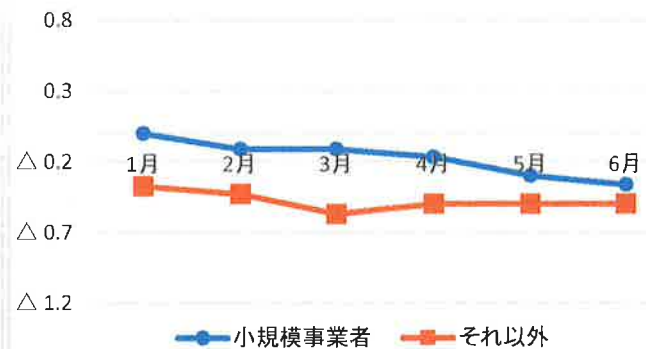
全産業の採算DIは△0.5で横ばいとなった。業種別に見てみると、製造業は+0.3ポイント上昇している。一方で、卸売業・建設業では-0.3ポイント下落し、小売業・サービス業では横ばいという結果となった。規模別に見ると、小規模事業者では-0.1下落、それ以外では横ばいという結果となった。

### 4, 仕入単価

#### 業種別



#### 規模別



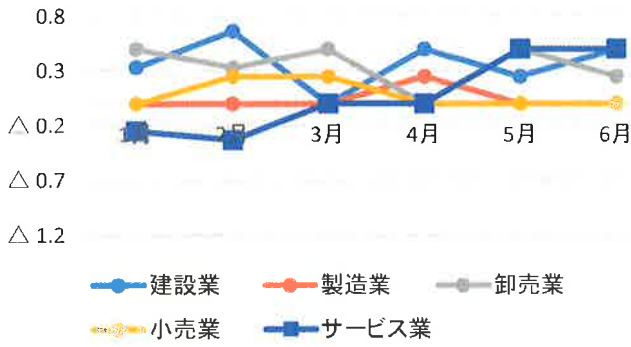
#### 仕入単価DIの推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全産業	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.4
建設	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.5
製造	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3
卸売	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.3
小売	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	0.0	△ 0.3
サービス	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.8
小規模	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.4
それ以外	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5

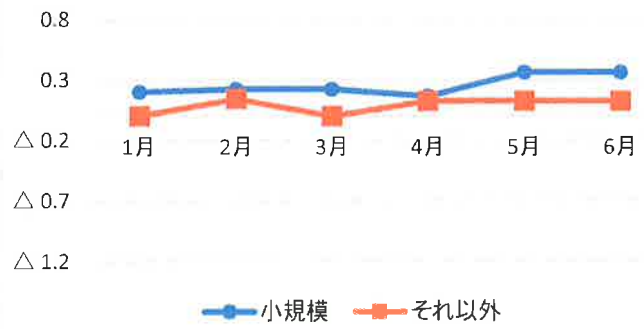
仕入単価の全産業DIは△0.4で前月比変化無しとなった。業種別に見ると、建設業・製造業が+0.2ポイント上昇した。その一方で小売業・サービス業は-0.3ポイント下落している。卸売業は横ばいという結果となった。規模別に見ると、小規模事業者では-0.1ポイント下落し、それ以外では変化無しという結果となった。

## 5, 従業員

### 業種別



### 規模別



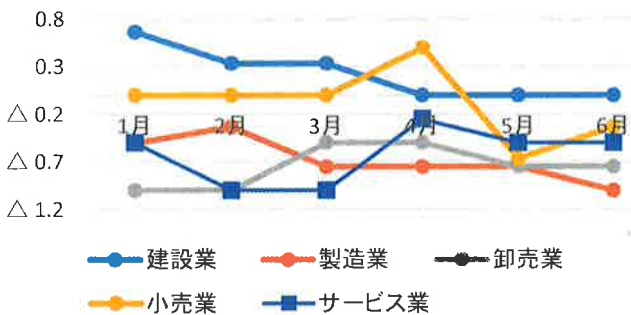
### 従業員DIの推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全産業	0.1	0.2	0.1	0.2	0.3	0.3
建設	0.3	0.7	0.0	0.5	0.3	0.5
製造	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
卸売	0.5	0.3	0.5	0.0	0.5	0.3
小売	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0
サービス	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.0	0.5	0.5
小規模	0.2	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4
それ以外	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1

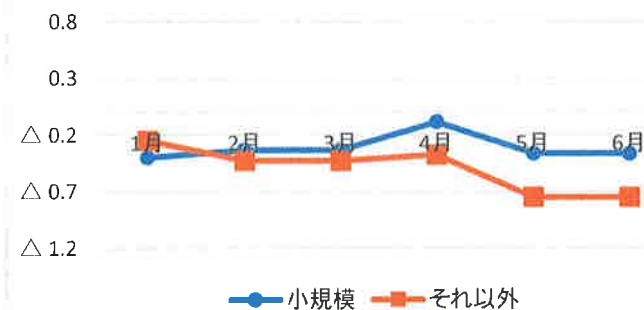
従業員の全産業DIは0.3で前月から変化していない。  
業種別にみると、建設業は+0.2ポイント上昇している。その一方で卸売業では-0.2ポイント下落している。製造業・小売業・サービス業は横ばいという結果となった。  
規模別にみると、小規模事業とそれ以外はともに変化無しという結果となった。

## 6, 業況

### 業種別



### 規模別



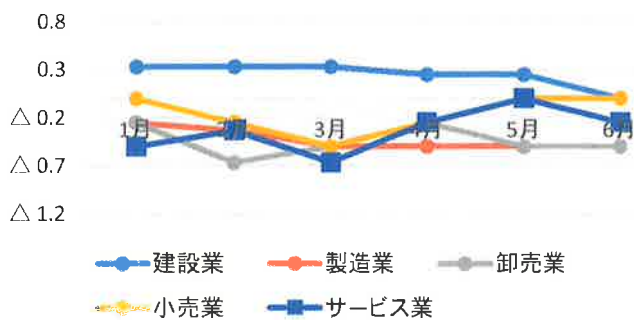
### 業況DIの推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全産業	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.5
建設	0.7	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0
製造	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 1.0
卸売	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.8
小売	0.0	0.0	0.0	0.5	△ 0.7	△ 0.3
サービス	△ 0.5	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5
小規模	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.4
それ以外	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.8	△ 0.8

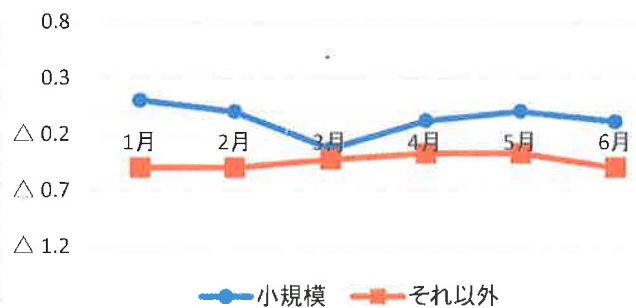
業況の全産業DIは△0.5と、前月から変化していない。  
業種別に見ると、小売業は+0.4ポイント上昇している。  
一方で製造業は-0.2ポイント下落している。  
建設業・卸売業・サービス業は横ばいという結果となった。  
規模別で見ると、小規模事業者とそれ以外はどちらも横ばいという結果となった。

## 7, 資金繰り

### 業種別



### 規模別



### 資金繰りDIの推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全産業	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.3
建設	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0
製造	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5
卸売	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5
小売	0.0	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	0.0	0.0
サービス	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.3	0.0	△ 0.3
小規模	0.1	0.0	△ 0.3	△ 0.1	0.0	△ 0.1
それ以外	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.5

資金繰りの全産業合計DIは△0.3で、前月比-0.1ポイント下降している。  
業種別に見ると、建設業・サービス業が-0.3ポイント下落している。製造業・卸売業・小売業は横ばいとなっている。  
規模別に見ると、小規模事業・それ以外はともに-0.1ポイント下落という結果となった。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

## 1.付帯調査【新型コロナウイルスによる影響について】

### 1-1 新型コロナウイルスによる経営のマイナスの影響について

	建	製	卸	小	サ	合計
①深刻なマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が50%超減少)		1	1			2
②大きなマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が30%程度減少)		2	2	1	2	7
③ある程度のマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が10%程度減少)	1		1	1	1	4
④現時点で影響はないが、今後マイナスの影響が出る懸念がある	2			1		3
⑤影響はない	1	1				2
⑥分からない					1	1
⑦回答不能						0

## 2.付帯調査【賃上げについて】

### 2-1 正社員における2021年度の賃上げについて

	建	製	卸	小	サ	合計
①業績が改善しているため(見込み含む)、賃上げを実施した(予定含む)	1	1				2
②業績の改善がみられない(見込み含む)、賃上げを実施した(予定含む)			3		1	4
③賃金は同水準を維持する	2	3	1	1	2	9
④賃金は引き下げる						0
⑤現時点では未定	1			1	1	3
⑥回答不能				1		1

### 2-2 2-1で①～②と回答した場合 2021年度の賃上げの内容について

	建	製	卸	小	サ	合計
①定期昇給を実施した(予定含む)			2			2
②ベースアップを実施した(予定含む)	1	1	1		1	4
③手当の新設・増額(予定含む) (例:住宅手当や家族手当、役職手当の増額など)						0
④一時金(賞与)を増額した(予定含む)			1			1
⑤回答不能	3	3	1	3	3	13

### 2-3 2-1で①～②と回答した場合 賃上げを行う理由について ※複数回答可

	建	製	卸	小	サ	合計
①人材確保・定着やモチベーション向上のため	1	1	3		1	6
②最低賃金が引き上げられたため			1	1		2
③新卒採用者の初任給や非正規社員の給与を引き上げたため (例:初任給が既存の社員の給与を上回ってしまうことを防ぐため)						0
④時間外労働のため削減により手取額が減少しているため		1				1
⑤社会保険料の増加により手取額が減少しているため						0
⑥他社より低い賃金になっているため					1	1
⑦数年来、賃上げを見送っていたため						0
⑧物価が上昇しているため						0
⑨税制の優遇措置(所得拡大促進税制を利用するため)						0
⑩その他→具体的内容はコメント欄に記入をお願いします。						0
⑪回答不能	3	3	1	3	3	13

### 2-4 2-1で③～⑤と回答した場合 賃上げを見送る理由について ※複数回答可

	建	製	卸	小	サ	合計
①今後の経営環境・経済状況が不透明のため	2	3	1	1	2	9
②業績の改善がみられないため(見込み含む)	1	3	1		2	7
③社会保険料の増加により会社負担が増えているため		2				2
④すでに他社と同水準(もしくはそれ以上)の賃金になっているため	2			1	1	4
⑤増員(予定を含む)による総人件費の増加を抑えるため						0
⑥損商品開発や販路開拓、設備投資等を優先するため						0
⑦非正規社員の賃金(時給等)を上げる一方で、総人件費の増加を抑えるため						0
⑧研修や福利厚生充実を優先させるため						0
⑨その他→具体的内容はコメント欄に記入をお願いします。						0
⑩回答不能	1	1	3	2	1	8

## 付帯調査まとめ

新型コロナウイルスによる経営のマイナスの影響についての質問では、およそ7割の事業所がマイナスの影響があると回答した。今後悪影響が出る懸念がある事業所を含めると約8割が新型コロナウイルスの影響を受けているという結果となった。  
賃上げについての質問では5割が現状維持、3割が賃上げを実施、1割が賃金引き下げを行った。賃上げの内容については、定期昇給が約3割、ベースアップが6割だった。賃上げを行った理由については、6割が人材の定着やモチベーションの確保のためだった。  
また賃上げを行わない理由については3割が今後の経営環境・経済状況が不透明のため、2割が業績の改善がみられないためという結果となった。